

四諦八正道

四諦 (四つの真理)

比丘たちよ、() 諦とはこれである。つまり、生まれることも苦しみであり、老いることも苦しみであり、病むことも苦しみであり、死ぬことも苦しみである。(略) すべてのものごと - それは執着を起こすもとである五種類のものの集まり (五取蘊) として存在するが - それがそのまま苦しみである。

比丘たちよ、() 諦とはこれである。つまり、迷いの生涯を繰り返すもととなり、快楽と欲情とをともなう際限なく執着する渴愛である。すなわち、心身の快楽を求める渴愛と、生の存続を願う渴愛と、権勢や繁栄を求める渴愛である。

比丘たちよ、() 諦とはこれである。つまり、その渴愛をすっかり離れること、すなわちその止滅である。その放棄であり、それから解放されることであり、それに対する執着を去ることである。

比丘たちよ、() 諦とはこれである。つまり、八つの部分からなる尊い行いの道 () である。
(『サンユッタ・ニカーヤ』より)

上の文章の空欄を適語でうめてください。(p80-81 参照)

四諦 : () 諦 () 諦 () 諦 () 諦

五取蘊とは、人間の構成する五つの要素への執着。() () () () ()

一切皆苦 (苦諦の分析 = 苦 苦)

四苦 - () () () ()

八苦 - (苦 愛しいものと別れることも苦しみ

(苦 憎いものに会うことも苦しみ

(苦 求めるものが得られないことも苦しみ

(苦 人生のすべてのものごと - それは執着を起こすもと

八苦とは、 の四苦と の四苦を合わせて言う

君の苦しみ、悩みは、「四苦八苦」のうちどれが多いですか。()

道諦 - 八正道 (八つの尊い行いを通して、苦を解決する方法)

法にかなった正しいものの見方を身につける

正しく考え

誠意のある正しい言葉

正しいふるまい

正しい生活

正しい努力

正しい心くばり

正しく心を集中させる

雪 別 逢 雪
種 ふ れ え ぶ
田 る の ば る
山
山

別 会
れ う
の は
始、
ま
り

一 期 一 会
千 利 休 (せ)

自己評価 (今日の授業を受けて)

該当に○をつける

A: 積極的に参加した

B: 普通

C: あまり関心がなかった。

感想欄 (今日の授業を受けて)

年 組 番 名前 ()